

## 学外の人にうらやましいと思われるようなカフェテリア

C1240262 板垣鈴音

カフェテリアには現在、食事をする人や勉強をする人、友達と会話をする人、空き時間があり暇をつぶしている人などが利用している。カフェテリアをよく利用する友人にインタビューを行った結果、顕在的ニーズとして金曜日になると定食などの週替わりメニューがほとんど売り切れてしまうので売り切れないようにしてほしいという意見と食券を朝でも購入できるようにしてほしいという意見とスターバックスなどのカフェが欲しいという意見があった。また、このことから潜在的ニーズは、より手軽に様々な料理を食べたいということだと考えた。この潜在的ニーズからより手軽に様々な料理を食べることができるカフェテリアを作るにはどのようにしたらよいのかという課題をたてた。

この課題を解決するために、4時限目がある人でもすぐに食事をとれて様々な料理を食べられるような空間というコンセプトを考えた。具体的な案は3つある。1つ目は食券を朝でも購入できるようにする。朝も購入できるようにすることによって3時限目の後並ぶ人を減らすことができる。2つ目は定食などの週替わりの料理の

数を増やす。週替わりの料理を増やすことでその日の気分にあった料理を選ぶことができ毎日飽きずにカフェテリアを利用することができる。しかし、料理の種類を増やしてしまうと負担が増えてしまう。3つ目は食券の購入を現金決済だけではなくバーコード決済でもできるようにする。バーコード決済を増やすことで現金を出す手間が省け一人一人が食券を購入する時間が短くなり回転率が上がる。4つ目はネット注文をできるようにする。ネット注文をできるようにすることによってわざわざ並んで食券を購入することがなくなりいつでもどこでも食券を購入することができるようになる。5つ目はカフェテリアにカフェを設置する。カフェを設置することで勉強をして疲れて時に甘いものを食べられるようにすることでより長時間勉強に集中することが出来る。また、カフェテリアで軽食を準備することがなくなり負担がなくなる。6つ目はどの料理がいくつ注文されたのか事前にわかるようにする。事前にどの料理がいくつ注文されたのか知っておくことで先に準備しておくことができ提供する時間も短くなる。

このように、より手軽に様々な料理を食べることができるカフェテリアにすることで学外の人にうらやましいを思ってもらえるカフ

エテリアになると考える。